

8 飯島左貫地区 【水土里ネット新城川】

小泉瀉クリーンアップ

今年で3回目をむかえた『小泉瀉クリーンアップ』が6月29日(日)午前6時より、金足地区振興会、追分町内連合会、県立博物館、小泉瀉公園事務所の協力により開催致しました。

昨年に引き続き、事前に地域内の住宅や学校に、クリーンアップ開催のパンフレットを配布し、協力要請を行い対応致しました。その甲斐もあり、昨年を上回る町内及び関係者193名、学校生徒127名、合計320名を募ることが出来ました。

初めに、“小泉瀉をキレイにする会”奈良会長のお礼の挨拶に始まり、続いて当改良区安田理事長より、ごみゼロ運動についての趣旨説明がされ、その中で農業用施設の大切さを将来の担い手にアピールしました。その後、小泉瀉の男瀉、女瀉に別れてクリーンアップ作業を行い、軽トラック3台分のゴミを回収し、隅々まで綺麗にすることができました。回収されたゴミの量は、回を重ねるごとに少なくなってきており、活動による成果があらわれてきていると実感致しました。

今後も継続していく上で、関係団体の代表による『小泉瀉をキレイにする会』を発足させ、毎年6月の最終日曜日をクリーンアップ開催日として位置付ける事ができました。

地域が連携し活動を継続していくのは勿論のこと、水質改善にも努めて行きたいと思えます。



活動体制	
実施主体	小泉瀉をキレイにする会、水土里ネット新城川（新城川土地改良区）
後援・連携	金足地区振興会、追分町内連合会、小泉瀉公園管理事務所、県立博物館、各町内会
実施期間	6月29日
参加者	町内及び関係者193名、学生127名（金足農業高校、秋田北中学校、金足西小学校外）合計320名
報道関連	秋田さきがけ新聞
活動実施年数	3年目（H24年～）
連絡先	〒010-0146 秋田市下新城中野字琵琶沼188-15 新城川土地改良区 TEL. 018-873-2151
その他	さなえ賞（H25）

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット新城川（安養寺文隆）

○活動の目標及び達成率	目標	クリーンアップを通して農業用施設の重要性和水の大切さをアピールする			
	達成率	80%			
○活動に対する評価	各関係機関と連携をはかり、活動を行う事ができ、また報道関係を通し我々の活動をアピールできたと思う。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			②運動の発展・拡大	A	各関係団体の代表により『小泉瀉をキレイにする会』が発足され、毎年6月の最終日曜日に開催されることになった。
①役職員・組合員の参加	B	理事長、職員が積極的に協力している。	③運動の計画性	A	水利施設の役割のパンフレットを配布し、理事長の挨拶にも盛り込みアピールした。
②後継者育成の工夫	A	小中高生の将来の担い手から参加してもらい、育成を行っている。	4. 運動の成果		
2. 活動の意味性について			a. 組織活性化	B	理事長、職員が積極的に協力しているが、地域の総代、組合員にも協力を要請していきたい。
①基本理念の設定	A	クリーンアップを通し農業用施設の重要性、水の大切さを知ってもらうことができた。	b. 地域農業	C	徐々にやっている。
②地域の歴史等の伝承	A	改良区の施設であるため池を利用した活動ができた。	c. 地域コミュニティー	A	学生の外、今年は校長先生や教師の方々からも参加をいただいた。クリーンアップだけでなく、農業用施設について出前授業もおこなった。
③運動の先駆性	A	土地改良区だけでなく、地域住民の意識改革ができた、継続的に行う事が可能になった。	d. 地域資源管理	B	少なからず保全強化につながっていると思う。
3. 運動の継続性・発展性			5. 今後の課題等について		
①運動の継続性	A	各団体、住民の協力により少ない経費で活動ができた。	・ここだけでなく、他の地域でも活動できるよう、積極的に展開していきたい。		

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他